

# \*データベース情報\*

## 新聞データベース“Newspaper Direct”が利用できます

Newspaper Direct-Press Displayは、世界各国で発行されている新聞をそのままの状態で見ることができるサービスです。世界約75カ国、700紙以上の新聞をフルカラーで収録。欧米・中南米・アジア諸国・中東地域など世界中の新聞へのアクセスをオンラインで提供しています。

新聞は出版直後にデータベースに収録されるので、タイムラグを気にせずに世界各国の最新のニュースを入手することができます。

### 【主な収録紙】

アメリカ	: The Washington Post, USA Today	イギリス	: The Guardian, The Observer
中国	: 聯合早報	韓国	: 東亜日報
サウジアラビア	: Al Hayat (International Edition)		

## “日経テレコン21”の新バージョンが使用できます

検索エンジンがさらに強化され、よりスピーディーな検索が実現されました。また、タブによる検索画面切り替えで、多角的な検索が容易になりました。なお、これまでのバージョンもお使いいただけます。※大学教育機関向けサービスでは、ニュース動画など一部のサービスが制限されます。

※利用方法など、詳しくは中央図書館ホームページをご覧ください。

# 3F 貴重書常設展示

展示期間：2010年12月1日(水)～12月26日(日)

展示期間：2011年1月10日(月)～3月31日(木)



「クリスマス・キャロル」

### ディケンズ

『クリスマス・キャロル』 初版 ロンドン 1843年  
『炉辺のおおろぎ』 初版 ロンドン 1846年  
『人生の戦い』 初版 ロンドン 1846年



ホーンブック イギリス

### 「クリスマス・キャロル」

強欲な主人公スクルージが、3人の幽霊と出会うことによってクリスマス・イブの夜に改心し、貧しい人々に手をさしのべるようになるという心暖まる物語。後に「クリスマス・キャロル」として一冊にまとめて出版された作品の第1作目(全5作)。演劇・映画などの原作として幾度も取り上げられるなど、現在も多くの人に愛されている作品である。

### 「炉辺のおおろぎ」

「クリスマス・キャロル」の第3作目。幾つかの家庭の悲喜劇の物語。幻影形式のクリスマス物語。

### 「人生の戦い」

「クリスマス・キャロル」の第4作目。ファンタジーの要素(「クリスマス・キャロル」における幽霊、「炉辺のおおろぎ」のおおろぎの精など)が含まれていない点が、他の「クリスマス・キャロル」の作品と趣を異にしている。献身的な性格の姉妹が最後は共に幸せな家庭を築き、人生を肯定的に考えていた姉妹の父親も改心をするという物語。

日本語では「つの本」(角本)と訳される。15世紀中頃から作られはじめ、18世紀中頃まで主として子供の教育に使われた羽子板状の教具。

1枚の紙、または子羊の皮に、アルファベットや数字、主の祈りなどが手書き、または印刷され、その上を熱湯で溶かして平らに伸ばした牛や羊の角で覆って保護し、周りを動物の皮で囲った。木製や金属製のものもある。子供たちは持ち手の穴に紐を通して自分のベルトに下げて持ち運んだ。労働者や職人、農民の子供たちの教育機関である慈善学校、日曜学校などで、読み方を教える初歩的なテキストとして大いに使われた。

18世紀に入ると、バトルドア(Battledore 羽子板)という厚紙に印刷された、より安価で手軽なものが普及しはじめた。



# 図書館だより

No.90

2010年12-2011年1月  
(合併号)

## \*冬期休暇中および後期定期試験中の図書貸出について\*

- 2010年12月27日(月)～2011年2月6日(日)まで延長貸出ができません。
- 2011年1月11日(火)～2月6日(日)は、予約図書を取り置き期間が3日間となります。



	変更期間	貸出冊数	貸出期間(返却期限)
学部生 通信教育部生	2010年12月11日(土)～12月26日(日)	10冊まで	2011年1月13日(木)
	2011年1月6日(木)～2月6日(日)		貸出日を含めて8日以内
※大学院生・研究員 研修員・研究生	2010年11月24日(水)～12月13日(月)	20冊まで	2011年1月13日(木)
	2010年12月14日(火)～2011年2月6日(日)		貸出日を含めて1カ月以内
卒業生	2010年12月11日(土)～12月26日(日)	5冊まで	2011年1月13日(木)
	2011年1月6日(木)～2月6日(日)		貸出日を含めて8日以内
一般公開B会員	2010年12月11日(土)～12月26日(日)	3冊まで	2011年1月13日(木)
	2011年1月6日(木)～2月7日(月)		後期定期試験のため図書館をご利用いただけません。 (入館・閲覧・貸出は不可。図書の返却は可能です)
	2011年2月8日(火)～3月16日(水)	3冊まで	通常通り(15日以内)

※試験期間中[2011年1月11日(火)～2月7日(月)までに学生から図書貸出の希望があった場合、図書の返却をお願いすることがあります。ご協力をお願いします。

## \*理工分室リニューアルのお知らせ\*

2010年10月29日(金)に、理工分室(19号館1階)内の環境改善工事を実施しました。

### 【主な改善点】

\* 不要な書架などを撤去して、学習スペースを広げ、室内を明るくしました。  
ゆったりとお使いいただけます。

\* 座席が6席増加しました。



## 冬期休暇中(2010年末～2011年始) 休館・休室のご案内

- ・ 本館(3-5階)は、12月27日(月)-1月5日(水)まで休館します。
- ・ 自由閲覧室(6階)は、12月29日(水)-1月4日(火)まで休室します。
- ・ 理工分室、薬学分室、文芸分室は、12月25日(土)-1月10日(月)まで休室します。
- ・ 法科大学院分室は、12月24日(金)-1月10日(月)まで休室します。



※年末年始&試験期間中の開館情報もホームページ(モバイル版)で確認できます

### ホームページ(モバイル版)のご案内

- 中央図書館からのお知らせや開館情報が確認できます
- OPAC(蔵書検索)が利用できます
- 貸出・予約状況が確認できます
- 本の予約や貸出延長などの手続きができます

<http://mobile.clib.kindai.ac.jp/>



# 第17回中央図書館蔵書展来場者アンケート結果報告



10月15日(金)～21日(木)に、第17回中央図書館蔵書展を開催し、のべ645名の方にお越しいただきました。多数ご来場いただきありがとうございます。  
今後の蔵書展開催の参考とさせていただくためにご協力いただいた、来場者アンケート(回収数：586枚)の結果をお知らせします。

## ①所属

学生	227
院生	10
通信教育部生	17
教職員	152
卒業生	23
近隣会	3
公開講座登録者	12
他大学・他機関関係者	13
本学取引業者	27
その他[一般]	102

学生学部別	学年別	一般来場者府県別
文芸→96名	1回生→71名	大阪→71名
短大→36名	2回生→49名	奈良→13名
理工→29名	3回生→47名	和歌山→4名
法→26名	4回生→59名	兵庫→2名
経営→19名	無回答→1名	京都→1名
経済→11名		三重→1名
薬→5名		無回答→1名
総社会→4名		
無回答→1名		

## ②来場回数

今回が初めて	374
2回	85
3回	39
4回以上	87
無回答	1

・今回が初めてのご来場だった方からも、「来年もぜひ見に来たい」とのご意見を多数いただきました。今後もよい展示を皆さんに見ていただけるように頑張りたいと思います。

## ③蔵書展開催を知った方法(複数回答可)

ポスター	201
チラシ	101
近テレ・学内放送	17
ホームページ	46
図書館からのメール	50
情報誌	20
教職員の紹介	199
その他	94
無回答	6

・開催の約1カ月前から右のような各種広報を行っています。「通りがかりに偶然見つけた」など、開催していることを知らなかったというご意見も多く、次回の課題としてよりよい広報手段を模索したいと思います。

## ④展示内容について

よかった	560
よくなかった	2
どちらともいえない	21
無回答	3

・「珍しいものを見ることができて楽しかった」とのご意見を多数いただきましたが、「解説の字が小さく読みづらい」とのご意見もいただきました。次回以降は改善したいと思います。

## ⑤展示会場について

よかった	492
よくなかった	14
どちらともいえない	73
無回答	7

・「見るのに疲れないちょうどよい広さだった」とのご意見がある一方、「もっと広い場所でやったほうがよい」とのご意見もありました。見やすく充実した展示にできるよう検討したいと思います。

## ⑥開催時間について

よかった	514
よくなかった	6
どちらともいえない	61
無回答	5

・「日曜も遅くまで開催しているのはよいが、期間が短い」とのご意見を複数いただきましたが、資料の移動や保存などの理由から、現状の1週間という期間を延ばすのは難しいかと思えます。

## ～蔵書展Q&A～ 蔵書展でご質問の多かった内容にお答えします！

### Q. 蔵書展のテーマはどうやって決めているんですか？

A. 蔵書展のテーマは、昨年、世界天文年とダーウィン生誕200年を記念して、天文・生物科学分野の資料を集めた展示を行ったように、その年何らかの記念をむかえるテーマを企画することが多いですが、今年の、珍しい本、装丁の美しい本などを集めた展示のように、来場者アンケートでご要望の多かったテーマを企画することもあります。  
ご要望いただいたテーマに合う資料を所蔵しておらず、お応えできない場合もありますが、皆さまがご覧になりたい資料をできるだけ展示していきたいと思っています。

### Q. 蔵書展の展示品は全部本物なんですか？

A. 今回の展示では紀元前の粘土板などがあったため、レプリカかと思われた方が多かったようですが、展示品はすべて本物です。廊下で展示していたものなど一部はレプリカですが、レプリカのものは解説にも“レプリカ”と紹介させていただきました。

### Q. 蔵書展でしか貴重書は見られないんですか？

A. 蔵書展以外にも、中央図書館の3階入り口を入ってすぐの場所に、常設展示として貴重書を1点づつ展示しています。1～2カ月に一回程度展示替えをしていますので、中央図書館ご利用の際にはぜひご覧ください。中央図書館ホームページでは、常設展示や過去の蔵書展の展示品(一部のみ)を公開していますので、興味のある方はこちらをご覧ください。  
今回展示した『エジプト誌』は、中央図書館でCD-ROM版が所蔵されていますので、全図版をデジタル画像でご覧いただくことができます。(学外の方は中央図書館の一般公開登録が必要です。)

### Q. 【華岡青洲流の医療器具】は図書館の所蔵品ですか？

A. 【華岡青洲流の医療器具】は医学部図書館の所蔵品です。今年は華岡青洲の生誕250年にあたることを記念して、医学部図書館から会期中のみお借りして特別展示しました。



蔵書展展示会場風景

## 後記

「見て楽しい展示でした。来年も楽しみにしています。」という大変うれしいご意見を多数いただき、本当にありがとうございます。  
今回いただいたご意見を参考に、来年もよりよい展示ができるよう準備をしたいと思います。次回も多数のご来場をお待ちしています！